



かながわ湘南西 障福ナビだより



令和 7 年 1 月 31 日 第 135 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail: soudan@jousei.or.jp

第 2 回重心・医療的ケア児者支援 NW 会議・かながわ 医療的ケア児支援センター湘南西部ランチ会議開催報告

令和 7 年 1 月 16 日（木）に Zoom ミーティングで開催しました。本来であれば対面開催の予定でしたが、ネットワークメンバーには当事者ご家族や医療従事者が多数含まれていることから、インフルエンザ等の感染症の爆発的な広がりを受け、急遽切り替えました。話し合ったテーマとその内容の一部をご紹介します。

i. 成人期に移行する際に主治医を変更する難しさ（医療的ケア児の 18 歳の壁①）

高等部の生徒の卒業に向けた会議で、診ていただける先生を自分たちで探さなければならぬ現状を共有した。バックアップできる体制はないものか。（特別支援学校）

- 側弯症の手術をしたので、卒業後に変更する主治医は、いざという時にご相談できる整形外科医だと安心できる。しかし、見つからなかったらどうしようという危機感がある。（当事者ご家族）
- 同じ泌尿器科であっても、小児の疾患と大人の疾患は違うようで、そのまま地元の泌尿器科に行っても診てもらえないらしい。うちの子どもの疾患を診てくれる先生が少ないので、主治医が困っていた。（当事者ご家族）
- 当院の医師が、成人期に移行するお子さんの主治医になる予定だ。その医師が現在の主治医と知り合いで、その個人的なつながりで引き受けるという。（病院職員）

ii. 高等部卒業後にご家族が仕事を継続する難しさ（医療的ケア児の 18 歳の壁②）

高校を卒業して放課後等デイサービス（帰宅 18 時過ぎ）から生活介護に切り替わると、帰宅時間が早くなる（16 時前）。これでは、家族は働けない。（当事者ご家族）

- 放課後等デイサービス利用の恩恵を受けてフルタイムでご家族が働けたのは、ご本人の年齢が 20 代半ばより下の方々。深刻な問題にもかかわらず、この問題の認知はまだ低いのかもしれない。（事業者）
- 地域の子供たちは 18 歳になったらお家に帰るのが遅くなるんでしょうけど、障害のある子は、学校に行かなくなった途端、お家に帰るのが早くなるのはどうなんだろうと、どのご家庭もおっしゃる。毎年悩みの種です。（特別支援学校）
- 令和 6 年度の報酬改定を受けて、行政は生活介護事業所が営業時間を延長することで解決できると考えているだろう。しかし、事業所では、職員の標準労働時間を超えてしまうことから、残業を前提とした事業運営、または、追加で職員配置をする必要があり、いずれも現状では極めて困難であることをご理解いただきたい。

iii. 新設の医療型短期入所事業所に活躍してもらえる方法

重心施設の医療型短期入所は、他圏域からの利用も殺到し、なかかな使えない。一方で、開設促進事業で新設された医療型短期入所事業所は、稼働していない所も多いと聞く。こういった事業所に活躍していただく方法は無いものだろうか。(病院)

- 医師が常駐しない老健施設等での開所が多いこと、医療的ケア児者のケアに慣れた医療従事者がいないこと等から、不安視する方もいる。しかし、そういった事業所に活躍していただく以外に、資源不足の解決は難しい。他県では、医療的ケア児と高齢者の交流につながった好事例もあるという。(訪問看護ステーション)
- 医療型短期入所の指定を受けた介護老人保健施設から今後の事業展開についてご相談を受けた。それを機に、受入れに向けて慎重に調整を進めている。(行政)
- 重度の方は重心施設、比較的軽度の方は老健施設等での医療型短期入所を利用するように役割分担できると良い。医療的ケア児者の受入れに不安なことがあれば、解決に向けてお手伝いしたい。(病院)
- 現場の看護師さんが、受け入れたいと思ってくれるかどうか大切。医療依存度の低い方が1晩泊まることから始めてはどうか。うちの利用児なら、うちの看護師からケアの注意点を先方の看護師に直接お伝えできる。問題が起きたなら、みんなで解決すれば良い。うちの事業所ができることで協力したい。(事業所)

i、iiでは、個別の支援から良い実践を共有し、並行して各メンバーが出席する様々な会議でこの課題を発信し、理解者を増やしていくことにしました。iiiは、該当事業所のある地域の行政が、ネットワークメンバーの力も活用しながら関わることになりました。紙面の都合でここまでしかご紹介できませんが、多岐にわたる有意義な意見・情報交換の場となりました。

令和6年度湘南西部圏域グループホーム連絡会 実践報告会
令和6年度第2回秦野市グループホーム事業所連絡会

グループホームが主役!!

障害者の地域生活を支えるちからを高めよう!!

湘南西部圏域内の各市町グループホーム連絡会等は、活発な取り組みを続けています。本報告会では、そこでの優れた取り組みを共有し、互いに力を高め合うことを目的に開催します。

日時 令和7年2月26日(水) 13:00~15:30

場所 秦野市立本町公民館 多目的ホール

対象 湘南西部圏域内の、グループホーム、相談支援事業所、障害者支援施設、精神科病院の職員

定員 100名(先着順)

申込 右記QRコードからGoogleフォームにアクセスし必要事項を入力

問い合わせ 湘南西部圏域グループホーム連絡会 79-5032

プログラム

○事例検討会 実践報告【発表者 各地域のグループホーム職員等】

○グループホームへの応援メッセージ

○講演「グループホームの利用者支援について」神奈川県立保健福祉大学 准教授 岸川 学 氏

